
先輩と後輩

ゴールド

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

先輩と後輩

【Nコード】

N1291M

【作者名】

ゴールド

【あらすじ】

同級生に恋をした男子高校生、規一は、同性との恋愛術を知るべく、一人の先輩の元へ行く。

その先輩と関わる事で、規一の価値観や心情は変わっていく。

完璧な先輩、黒木春（前書き）

B Lを不快に思われる方は、見ない事をお勧めします。

完璧な先輩、黒木春

俺の名前は名取規一（なとりきいち）、漢の中の漢。

だからこそ、俺には大きな声で言えない悩みがある。

それは、男に恋をしているという事だ！

あ、誤解してほしくないんだけど、男を好きになった事が悩みなのではない。

男との、直接的に言えば、やり方がわからない事が悩みで。

高校に入学して、初めて仲良くなった友人、柴野優（しばのゆう）に恋をして一年と少し。

そんな俺は、今、三年生校舎にきている。

全校生徒の憧れ、容姿の良さはもちろん、学業もトップ・クラスの、黒木春（くろきしゅん）に会いに！

何故かって？

ふふん、それは、俺が衝撃的な場面を見たからだ。

その黒木先輩が、体育館裏で男とキスしている場面を！

だから俺は、彼ならそういう事を知っていると思って、ここにきた。

一つ学年が上というだけなのに、二年校舎では感じない居心地の悪さに身を歪めながら、俺は先輩のクラス、三年C組の教室へと足を進めた。

するとその途中、先輩らしき人がトイレから出てくるのを発見した。うん、あれは確かに黒木先輩だ。

そう思って、俺は足早に距離を縮めた。

「黒木先輩！」

俺がその名を呼ぶと、漆黒に染まった綺麗な黒髪を靡かせて歩いてきた彼は、足をとめた。

そして、ゆっくりとふり向くと、何もかも見透かすような鋭い瞳で、俺を見た。

「何か用？」

そう言うと、先輩は俺の方に向かってきた。

全校生徒の憧れの黒木春が、自分のために歩いてると思うと、なんだか不思議な気持ちになった。

いや、違う！

俺は先輩に、男とのやり方について聞きにきたんだ。

幸い、周りには虫一匹いない。

「あ、あのー！」

「ん？」

俺は、自分の中にある全ての勇気を振り絞って、言った。

「俺に、男同士のやり方を教えてください！」

「いいよ」

「へ！？」

驚いた。

い、いや、ありがたいんだけど、あまりにもあっさりしすぎとかか。

もっと、何で知ってるんだとか、いきなり何を言い出すんだとか、

言われると思ったから、この返答には本当に驚いた。

「いらぬなら、別にいいけど？」

「いや！ぜひお願いします先輩！」

やっぱり、あの場面は本当だったんだ。

こんなに格好良くて、女からも嫌ってくらいモテるのに、男と付き合ってるなんて、世界は広いな。

「でも、今日は無理」

「あ、大丈夫です！来週の水曜までになんとかなればいいですから」

「何で水曜なの？」

「好きなやつに告るの、水曜って決めてるんです。だから、それまでにレクチャーしてもらえれば」

俺がそう言うと、先輩は、自分のポケットから小さい手帳を取り出した。

おお、なんか、こういう単純な仕草でも格好良く見える。

「うーん。じゃ、俺、今週の土・日空いてるから、それで良ければいいよ」

土・日って、二日もいるのか？

よくわからないけど、ま、いいか。

「それをお願いします！」

俺が元気よく答えると、先輩は、おそらく女子は確実に落ちるであろう爽やかな笑顔で、俺の頭を撫でた。

「ま、頑張れ」

あ、危ねー、危うく俺も落ちるところだった。

よく考えたら、俺、今すごく恥ずかしい事されてるよな。

身長185?の先輩が、172?の俺を撫でるって。

俺だって、そんなに低くないんだけどな！。

とにかく、こんな事をさりげなくする先輩だからこそ、モテるんだ
なと改めて思った。

「あ、俺のメアド教えときますね！」

予鈴三分前になったので、俺は慌ててアドレス交換をし、二年生校
舎に戻った。

どうなるのかわからないけど、同性の優に告白するにはそれなりの
準備が必要だと思う。

だからこそ、あの黒木春に教わるんだ。

ああ、土・日が待ち遠しくなってきた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1291m/>

先輩と後輩

2010年10月28日07時41分発行